

未来社会共創センターの概要

～日本そして世界をリードする未来社会創造拠点を目指して～



2022年4月



未来社会共創センター

Co-Creation Center for Future Initiatives

未来社会に必要な**“新しい価値”**を **民 産 官 学** で共創する！



■名称：一般社団法人
未来社会共創センター

■沿革
2017年4月
高齢社会共創センター 創設
(高齢社会検定協会を改組)
2020年9月
未来社会共創センターへ名称
変更(長寿社会事業部門、
ライフスタイル事業部門の設置)

■所在地：東京都文京区弥生
2-11-16 東京大学工学部
9号館総合研究機構内

■センター長 辻 哲夫
※顧問・理事・監事 23名



共創事業
Citizen Centered Design
リビングラボ事業



社会教育事業
高齢社会検定事業

■ジェロントロジーの基礎知識を提供
合格者「高齢社会エキスパート」は
2600名超に
(2013～高齢社会検定協会からの移行事業)

会員サービス事業
会員限定セミナー

■**リビングラボ (Living Lab)** とは
特定の地域をベースに民産官学が共創する形で、まちづくり(地域が有する課題の解決等)や商品・サービス開発等を行う地域に常設された共創拠点
**世界では欧州を中心に約400の
リビングラボが存在**
**生活者(当事者)が企画段階から参加
新たなオープンイノベーションの場**



■**「鎌倉リビングラボ」の展開 (2017～)**
生活者ニーズ・自治体ニーズ・企業ニーズにもとづく各種プロジェクトを実施



■**「東大和ライフスタイルラボ」の展開 (2020～)**
■**日本版リビングラボ・ネットワークの構築**

リビングラボ研究交流会
■登録メンバーは400社・団体、900名
新たな価値を共有する場として継続開催





会員サービス事業

未来社会に必要な“新しい価値”を **民** **産** **官** **学** で共創する！

- 【特典1】 **「鎌倉リビングラボ」「東大和ライフスタイルラボ」の利用**
※利用にあたっては具体活動内容を相談のうえ進めます。別途利用費用が発生します。
- 【特典2】 **「会員限定セミナー・イベント」への参加**
※共創活動に資する実務的にも有益なセミナーを企画。リクエストにも応じます。
- 【特典3】 **「共創プロジェクト」提案・参加**
※会員からの提案を受けて設置。各LLでの共創活動を行うことを前提とした事業デザインの場合。
- 【特典4】 **東京大学高齢社会総合研究機構（IOG）及び
東京大学未来ビジョン研究センター（IFI）関連イベントのご案内**

+

<オープンイベント>

- ◆ **未来社会共創センターリビングラボ研究交流会**の開催（年3回予定）
※未来社会創造に向けた最新の研究動向等学び交流する機会
- ◆ **リビングラボ・ネットワーク会議**の開催、運営支援（年1回予定）
※国内のリビングラボ関係者が互いに最新の取組みやノウハウを共有し交流する機会

✓ 未来社会共創センターは、**安心して豊かな未来社会の実現に向けた活動をともに推進する同志**として、以下の会員を募集しています。

法人会員【名誉会員】（日本生命・セコム・大和ハウス）

正会員

法人会員【パートナー会員】（SMBCグループ・日本総研）

正会員

募集 法人会員【特別会員】【年会費100万円】

正会員

募集 法人会員【賛助会員】

A:未来社会共創センターのみ加入【30万円】

B:東大IOG産学連携組織にも加入の場合
【15万円】

募集 自治体・大学等会員（年会費無料）

募集 リビングラボ・ネットワーク会員（年会費無料）

有識者・関係団体会員 ……未来社会共創センターが指名する有識者・団体（年会費無料）

高齢社会エキスパート会員（高齢社会検定合格者の個人、年会費無料）

※2020年度以降はコロナ感染状況を踏まえて、オンラインまたはリアル開催を判断し開催



登録メンバー **約400社・団体（自治体含む）900名** ※紹介・事前登録制

- ・日本では萌芽期にあるリビングラボについて、多様な参加者が学び合い、交流する場
- ・オープンイノベーションに向けた取組や手法についてディスカッションできる場

①国内外のリビングラボに関する情報提供

－活動実践者からの報告等

②地域課題解決に関する情報提供

－有効なまちづくり方策の事例報告等

③シルバー・イノベーションに関する情報提供

－企業の取組事例等

④オープンイノベーションプラットフォームとしての機能

－共創プロジェクト提案等

未来社会共創センター会員が
プレゼンテーションをする等、
仲間づくりのきっかけを提供

■これまでのリビングラボ研究交流会等の実績

研究交流会／LLネットワーク会議	開催日時	内容
2017年度第1回LL研究交流会	2017.5.25	欧州リビングラボの見学報告他
2017年度第2回LL研究交流会	2017.7.5	三浦リビングラボラトリー事例
2017年度第3回LL研究交流会	2017.9.15	Open Living Lab Days2017報告、鎌倉リビングラボ活動報告
シンポジウム「長寿社会を共創する」	2017.11.16	第1部 長寿社会を舞台とした共創 第2部 高齢社会共創プラットフォーム構想
2017年度第4回LL研究交流会	2018.1.15	鎌倉リビングラボ概要、S-イノベ「高齢者の記憶と認知機能低下に対する生活支援ロボットシステムの開発」プロジェクト紹介
第1回全国LLネットワーク会議	2018.4.6	日-瑞合同「持続可能なリビングラボの発展に向けて～共創の仕組みを考える」
2018年度第1回LL研究交流会	2018.6.8	伊福部達教授講演「福祉工学とリビングラボで活かせる共有リソース」
2018年度第2回LL研究交流会	2018.7.27	鎌倉リビングラボのこれまでとこれから他
2018年度第3回LL研究交流会	2018.9.20	Open Living Lab Days 2018報告、世界のリビングラボ動向
2018年度第4回LL研究交流会	2018.11.27	自働車技術会デザイン部門委員会コラボ企画「超高齢未来の移動とライフスタイル」
2018年度第5回LL研究交流会	2019.1.22	「みんなで創るコミュニティ commons」
シンポジウム 「人生100年時代のまちづくり」	2019.3.1	副題「コミュニティで創るイノベーションプラットフォーム」
第2回全国LLネットワーク会議	2019.3.15	面白法人カヤックCEO 柳澤様講演「地域から新しい資本主義を考えよう ～鎌倉資本主義の事例から～」 パネルディスカッション「日本版リビングラボの確立へ向けて～リビングラボの質を高めるには～」

■これまでのリビングラボ研究交流会等の実績

会のタイトル	開催日時	内容
2019年度第1回LL研究交流会	2019.6.4	新しい働き方とライフスタイル～生活の変化がもたらすビジネスイノベーション～
2019年度第2回LL研究交流会	2019.7.16	産官学連携が生み出す新たなビジネスの形～地域包括ケアシステムを切り口に～
2019年度第3回LL研究交流会	2019.9.19	生活者の可能性を拡張し、生活を豊かにするためのテクノロジー（AI,IoT,ロボティクス）
2019年度第4回LL研究交流会	2019.12.19	人生100年時代と資産寿命～貯めずに“安心して使える”社会を築くには？
2020年度第1回LL研究交流会 (ウェビナー)	2020.12.10	「民産官学“共創”の時代！リビングラボの最前線～世界のリビングラボの動向」
2020年度第2回LL研究交流会 (ウェビナー)	2021.2.12	「ポストコロナ時代の“新しい働き方・暮らし方”を共創する」
第3回全国LLネットワーク会議 (ウェビナー)	2021.3.24	「日本の文化・社会システムでリビングラボが機能するために」
2021年度第1回LL研究交流会 (ウェビナー)	2021.7.29	「高齢者市場とSDGs～人生100年を支えるビジネスの創造に向けて」
2021年度第2回LL研究交流会 (ウェビナー)	2021.11.25	「ポストコロナ時代の新たな空間づくり～Life & Work & Learnの融合トライアル」
第4回全国LLネットワーク会議 (ウェビナー)	2022.3.14	「社会変革を実現するリビングラボ」 ※大牟田未来共創センター他との共催



4. 未来社会共創センターの特徴等



○運営メンバーの多くは、東京大学の関係者ですが（P11参照）、大学からは独立した「**一般社団法人**」です。

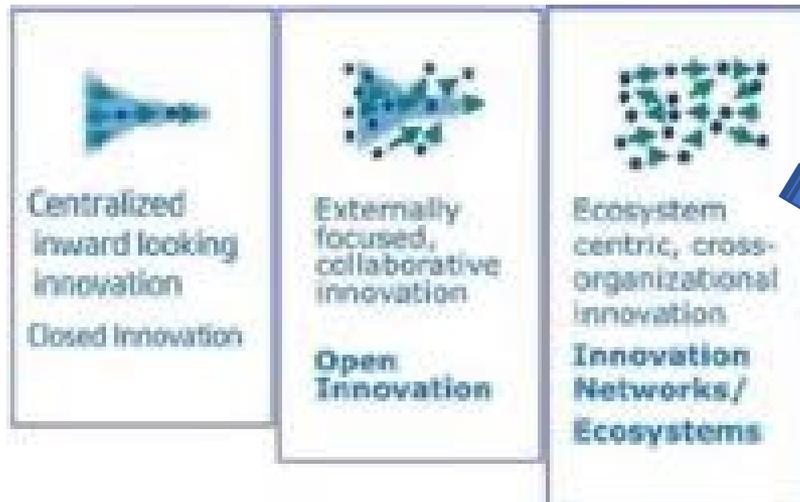
○下記目的に資する事業を通じて、未来社会の発展に貢献する**“新しい価値”を共創するインキュベーション組織**です。

【定款 第3条 目的】

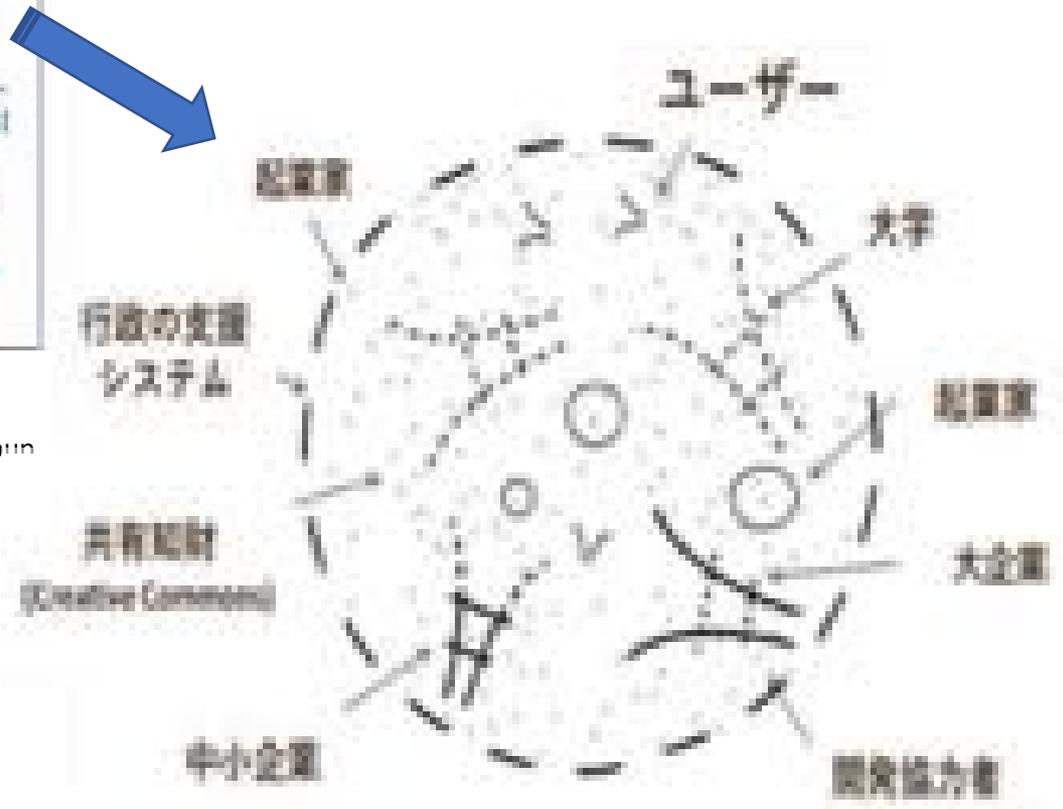
この法人は、安心して豊かな長寿社会、持続可能な未来社会の創造に向けて、産官学民のあらゆる主体がともに学び、協働することを通じ、必要とされる新たな価値を共創する。とりわけ人生100年時代における個人のライフデザイン、安心して快適な暮らしの実現、持続可能な開発目標（SDGs）にかかる課題の解決と新たな価値の創造を主眼とし、これに資する事業を展開しながら、未来社会の発展に貢献していくことを目的とする。

○共創するために「**リビングラボ**」を有し、その共創を支えるための「**社会教育（検定・研修）**」を行います。また新しい価値・情報を共有するために「**リビングラボ研究交流会**」を開催しています。

○最大の特徴（＝リビングラボの特徴）は、**生活者・地域と距離が近く、その生活者を中心に民産官学の多様なメンバーで共創できること。**生活者の声を聞きたい（テストしたい）、生活者とともに商品サービスをゼロから開発したい場合、当センターの参加・利用価値は高いと考えます。
（オープン・イノベーション2.0を体現する最先端のマーケティング、共創の場と言えます）



Sources: Open Innovation Yearbook 2016 - European Commission - EN p18 Figure 2: The evolution of innovation.
Source: Salmelin, EU Open Innovation Strategy and Policy Group
<https://ec.europa.eu/digital-single-market/en/news/open-innovation-20-yearbook-edition-2016>
Idea: Chesbrough 2003, Forrester 2004, von Hippel 2005



Sources: Open Innovation Yearbook 2016 - European Commission - EN p16 Figure 1: OI2 — a new milieu を翻訳
<https://ec.europa.eu/digital-single-market/en/news/open-innovation-20-yearbook-edition-2016>



2017年4月 組織の多様化、活動の確立化、課題解決・社会貢献の推進

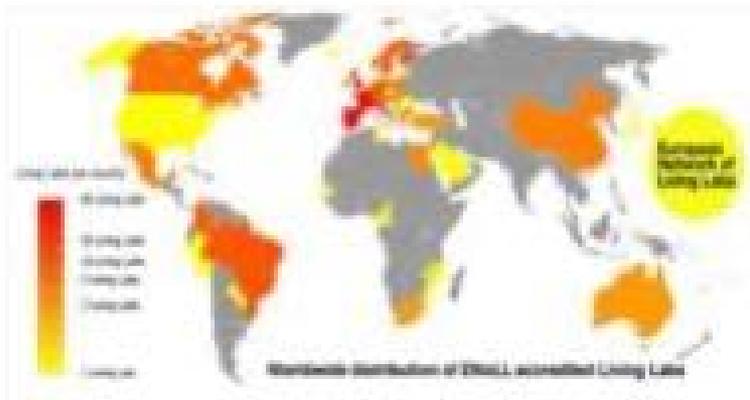


未来社会共創センターの特徴

未来社会を“共創する”



約400のLLが世界で展開



新しい地域活動・イノベーション活動

生活者が主役！

住民・企業・大学・行政が参加
サービス・ものづくりを共創
地域の課題解決を協働・共創



リビングラボ・ラボでは何が起るの？

LLの活動は地域・企業・大学・行政が参加して行う



全体コーディネート
知見提供と分析評価
アクション・リサーチ、エビデンス

大学

共創活動の調整・後方支援
地域活性化・地域の質向上

自治体

共創
協働

企業

生活者
(当事者)

商品サービス開発
新たな開発視点・CSV※
※Creating Shared Value : 共通価値の創造

意見・評価・アイデア
社会貢献・新たな収入源

※一般的な市場調査や企業が有するイノベーションセンターとの違いを意識して

(1) 産出する成果の「質」が高い

生活者・ユーザー・当事者中心の商品サービス開発、まちづくりが可能

- ①体制とプロセスが違う・・・生活者・ユーザーの当事者が川上（企画段階）から参画
- ②検証する場が違う・・・生活の場、実際の地域の中で実証（テストベッドがある）
- ③検証の反復する量が違う・・・当事者が求める理想に向けて改善に向けた「反復」を徹底

⇒当事者性が高く、生活の場で、反復して徹底的に検証できる場は現在見当たらない

(2) 新たなテーマに取組める、イノベーションの幅・可能性が広がる

自社単独では実現できないテーマは多い。共創センターがコーディネートすることで、異なる業種の複数の企業との共創が可能

(3) 地域との共創、まちづくりへの参画に向けてはリビングラボが最適

自治体と企業の共創（公民連携事業）を行う場合、制約が多い（公募・入札）。リビングラボの事業として設計することで、自治体とつながりやすくなる。企業にとっては、様々な地域の課題解決の取り組みを参画でき、そこで新たなイノベーションの可能性が広がる。自治体にとっても企業の参画は有益。



まちの未来を創る

地域内外の人たちが暮らしを彩るアイデアの種を
持ち寄り共に育てる、新しい地域・社会活動
『リビングラボ』を始めます♪

鎌倉 リビングラボ活動

2017年1月
キックオフ!

行政



まちを支える
専門職



まちで暮らす
皆さん



企業



大学





出典：NPO法人タウンサポート鎌倉今泉台HP

鎌倉市今泉台地区

- ・昭和40年代に開発された丘陵地の戸建ニュータウン
- ・ゴルフ場やハイキングコースに囲まれた緑豊かな環境
- ・住民の大多数が元サラリーマン・専業主婦の夫婦世帯
- ・社会問題に関心が高く、地域活動が盛んな地域
- ・最寄駅までは20分、急坂（北鎌倉駅）かバス（大船駅）
- ・2015年NPO法人タウンサポート鎌倉今泉台設立

※ 今後は市内他地域にも展開予定

<今泉台地域基礎データ (2019.6) >

- 人口 : 4979人
- 世帯数 : 2000世帯
- 高齢化率 : 44.8%
(75歳以上は 30.1%)

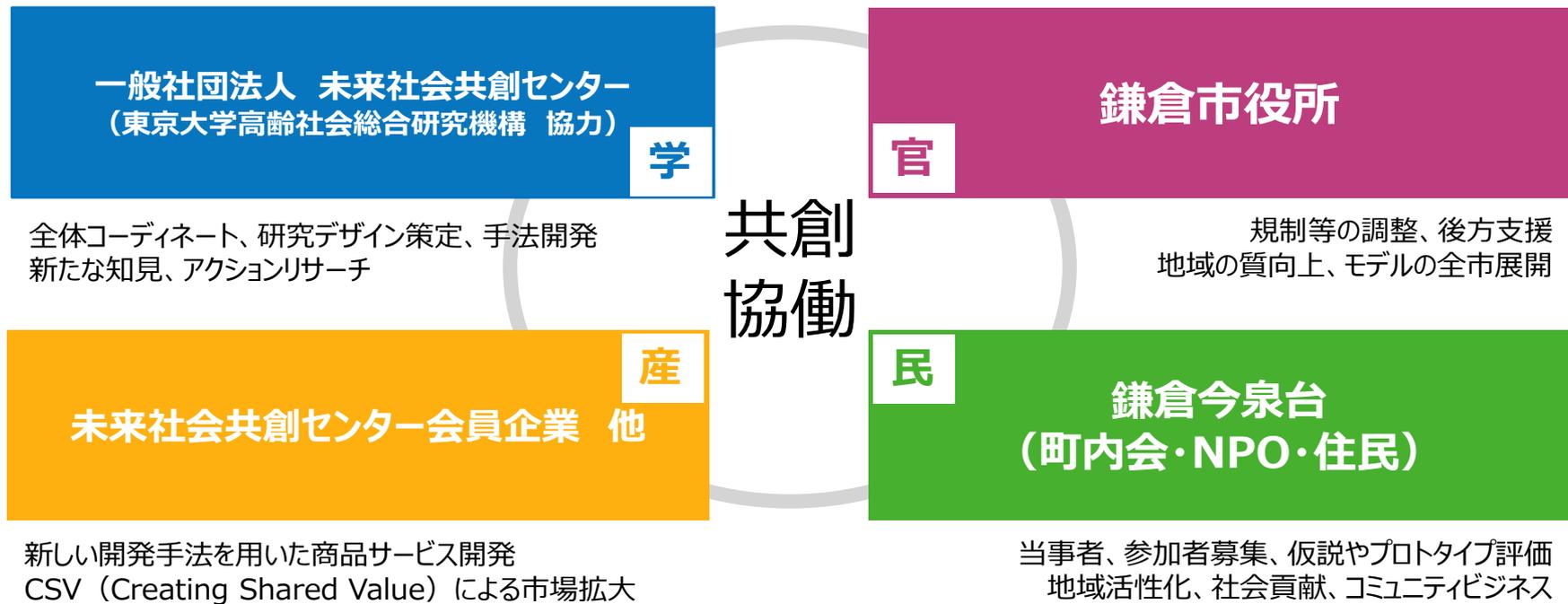
鎌倉市今泉台地区

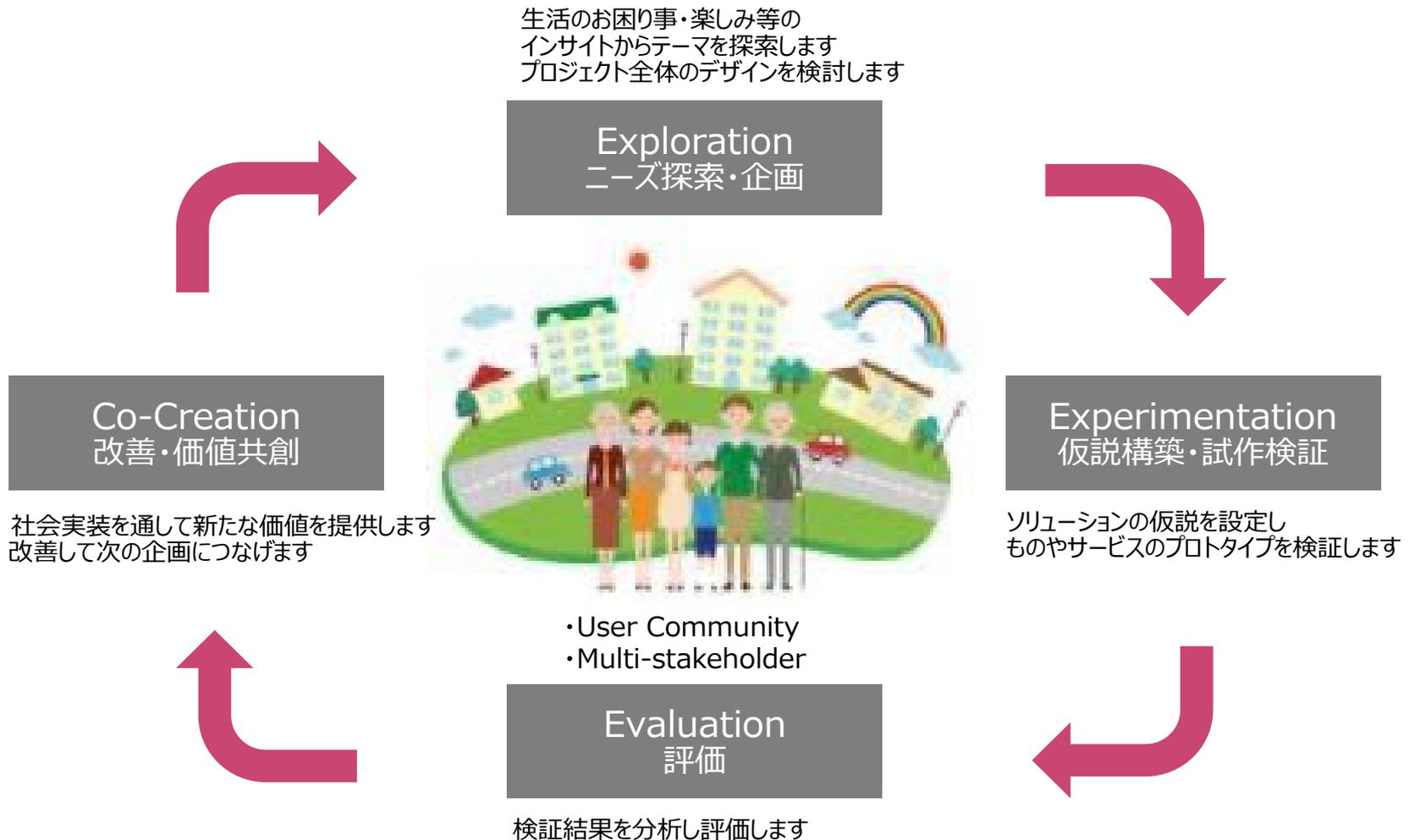
- ・敷地面積：50坪以上※住民協定による
- ・居住年数：最長54年、最近子世代が戻ってきている（近居スタイル）
- ・大船駅行バス停は町内に5か所、5～12分間隔で運行
- ・1丁目～7丁目まで約2 Km、町内に高低差あり
- ・町内に商店街2か所
（肉屋、寿司、そば、クリーニング、日用雑貨、床屋、デイケア、薬局）
- ・最寄りのスーパーマーケット（Fit Care Mart）は車で5分
- ・町内にコンビニエンスストアなし、2020年4月より週1回ローソンカー巡回
- ・買物は大船駅周辺（ルミネ、西友、イトーヨーカドー、仲通り商店街）
駅の反対側のコーナン（ホームセンター）
- ・病院は町内にクリニック1軒、車で10分のところに中央病院
- ・自治会加入率95%
- ・町内サークル数約40
- ・スマホ保持率62%
（2017年NPOが実施したIT利用アンケート調査、回答率28.7%）



活動拠点

- ・いずみサロン（NPOが運営）
- ・北鎌倉台コミュニティスペース（東京映画社サテライトオフィス1F）
- ・町内会館
- ・6丁目クラブ（女性有志によるコミュニティカフェ）
- ・参加者の自宅
- ・鎌倉駅、大船駅近くのレンタルスペース





- 共創サイクルを繰り返し行い、よりよいもの・サービスを創出します
- 共創サイクルの各プロセスにおいてPDCAサイクルが循環します
- 各プロセスを行きつ戻りつしながら進行します

次のA～Cの共創活動を実践し、具体成果を創出しながら、
当該活動の機序（メカニズム）及び事業構造を確立していきます
（＝日本版リビングラボ活動・事業のモデルの構築）

例

A ……【共創センター主導】

住民課題にもとづく…「長寿社会にふさわしいワークスタイルと住宅・地域環境の開発」

B ……【共創センター主導】

自治体課題にもとづく…「シニア世代のICTリテラシー向上策の追究」

C ……法人会員の皆様からの提案を受けて活動（提案を受けて共創センターがコーディネート）

企業課題にもとづく…「新たな長寿社会向け商品サービス開発（複数）」

鎌倉リビングラボ 専用サイト

<https://www.kamakurall.cc-aa.or.jp/>



ご希望の方は共創センター
スタッフまでお問合せください

鎌倉リビングラボ 取組紹介資料



未来社会共創センターは、以下の存在になることを目指します。

- ① 超高齢未来に向けて、産官学民が真に共創できるセンター
- ② 創生期にある日本のリビングラボをリードする中核的センター
- ③ 共創活動を通じて、地域・企業の発展、国民のQOL向上に貢献する社会的価値の高いセンター



未来社会の創造に向けて、未永くともに共創いただける皆様を募集しています！

〈お問合せ先〉

〒 113-8656 東京都文京区弥生 2 - 11 - 16 東京大学工学部 9号館

総合研究機構内 一般社団法人 未来社会共創センター

TEL : 03-3868-3051 Email : info@cc-aa.or.jp (担当 : 吉田・齋藤)